令和5年度 第1回尾張旭市廃棄物減量等推進審議会 会議録

1 開催日時

令和5年9月5日（火）

開会 午前10時00分

閉会 午前11時20分

2 開催場所

市役所南庁舎2階 203会議室

3 出席構成員

矢野昌彦、新田美得、佐藤庸子、松原ふき、松原紘子、伊藤紀子、白坂弘子、榊田英也、中西博文、米今賢二、水野勝、計11名

4 欠席構成員

0名

5 傍聴者数

0名

6 出席した事務局職員

市民生活部長：大津公男

環境課長：木戸雅浩、環境課長補佐：林正信、環境課主事：飯田あゆみ

7 議題等

- (1) 会長の選出及び職務代理者の指定について
- (2) 尾張旭市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の進捗状況について
- (3) 次期一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定状況について

8 会議の要旨

事務局（環境課長）	<p>定刻になりましたので、ただ今から「令和5年度第1回 尾張旭市廃棄物減量等推進審議会」を開催させていただきます。審議会事務局環境課長の木戸と申します。よろしくお願いいたします。開催にあたりまして、市民生活部長の大津から一言ご挨拶を申し上げます。</p>
事務局（市民生活部長）	<p>あらためまして、こんにちは。市民生活部長の大津でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、お忙しいなか、当審議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日は、委員の改選後、初めての審議会となりますが、委員をお願いするにあたり、皆さまには、快く、お引き受けいただきましたことを、厚く、御礼申し上げます。また、公募委員の方につきましても、ご応募をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>さて、本審議会は、ごみの減量化、再生利用の推進方策や、諮問事項等について調査・審議をいただく機関でございます。</p> <p>本市では、平成26年度から10年間を計画期間とする、尾張旭市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画に基づきまして、ごみの減量化に取り組んでいるところですが、当計画は、令和5年度、本年度までの計画となっておりますので、昨年度から2か年に渡り、次期計画の策定準備を進めているところでございます。</p> <p>皆様には、次期計画の策定にあたりまして、内容の審議などに、ご協力をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、現計画の進捗状況及び次期計画の策定状況について、ご審議いただく予定でございます。より効果のある取組となるよう、皆さまのお力添えをお願いするとともに、忌憚のないご意見をいただきますことをお願い申しあげまして、一言ご挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日は、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局（環境課長）	<p>市民生活部長は他の公務がございますので、ここで退席とさせていただきます。</p> <p>それでは、審議会に先立ちまして、会議公開について事務局より説明させていただきます。本市では、市民の行政への参画促進と、公正で透明性ある行政運営を図るため、市の附属機関等の会議は、原則公開をすることとしています。</p> <p>会議の公開とは、市民の皆さまに会議の開催をホームページなどでお知らせし、希望される方については会議を傍聴していただくも</p>

	<p>ので、会議録などの資料も公開するものでございます。</p> <p>本審議会につきましても、会議公開制度に基づき、公開させていただきますので、ご了承いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、先ほども申し上げましたが、本日が新しい委員による初めての会議でございます。</p> <p>皆さまから簡単な自己紹介をお願いしたいと思います。まずは事務局から自己紹介をさせていただきます。</p> <p><環境課職員 自己紹介></p>
事務局（環境課長）	<p>次に、昨年度から次期ごみ処理基本計画の策定支援に携わっていただいている、株式会社東和テクノロジーさんに自己紹介をお願いします。</p> <p><株式会社東和テクノロジー 自己紹介></p>
事務局（環境課長）	<p>続きまして、委員の皆様、自己紹介をお願いします。</p> <p><各委員自己紹介></p>
矢野委員	<p>名古屋産業大学で環境の研究をさせていただいています矢野昌彦と申します。よろしくお願いいたします。</p>
白坂委員	<p>消費生活研究会の白坂です。市の委託を受けてスーパー等の業務検査を抜き打ちに行っています。よろしくお願いいたします。</p>
榊田委員	<p>市内で古紙を資源化し紙づくりをしております、エコペーパーJ Pの榊田と申します。よろしくお願いいたします。</p>
中西委員	<p>イトーヨーカドー尾張旭店の中西と申します。よろしくお願いいたします。</p>
米今委員	<p>ボランティアで尾張旭市の生ごみを減らそうという運動をしております米今賢二と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
水野委員	<p>公募委員の水野勝です。一昨年の3月まで働いており、定年退職をしました。それまでは環境の分析の仕事を行っていました。よろしくお願いいたします。</p>
佐藤委員	<p>商工会女性部の佐藤と申します。よろしくお願いいたします。</p>
松原（紘子）委員	<p>J Aの女性部から参りました松原紘子です。よろしくお願いいたします。</p>

松原(ふき)委員	地域婦人団体連絡協議会から参りました松原です。よろしくお願 いします。
伊藤委員	地域活動連絡協議会から参りました伊藤紀子です。よろしくお願 いします。
新田委員	自治連合協議会から派遣されております旭丘連合自治会長の新 田美得です。よろしくお願いします。
事務局(環境 課長)	ありがとうございました。 本日の出席委員は、11名全員でございます。 本審議会条例第7条第2項により、本審議会は成立しておりま す。 それでは、議題に移らせていただきます。 新しい会長が選任されるまでの間、事務局で議事の進行を行いま す。よろしくお願いします。 それでは議題の(1)「会長の選出及び職務代理者の指定について」 に入ります。 この件につきましては、尾張旭市廃棄物減量等推進審議会条例 第6条第1項の規定によりまして、委員の互選により定めること としております。 委員の方から、どなたかご推薦をお願いしたいと思えます。
新田委員	やはりここは学識経験が豊富で、環境問題に精力的に取り組んで いらっしゃる矢野委員を推薦したいと思えます。
事務局(環境 課長)	ただいま、新田委員より矢野委員の推薦をいただきました。他の 推薦等がなければ矢野委員に会長をお願いしたいと思えますが、皆 様よろしいでしょうか。
各委員	<異議なし>
事務局(環境 課長)	ありがとうございます。それでは、本審議会の会長は、矢野委員 にお願いすることに決定しました。会長が選出されましたので、議 事進行を会長と交代させていただきます。 それでは会長には会長席に移動をお願いしたいと思えます。 一言ご挨拶をお願いしたいと思えますが、よろしいでしょうか。
矢野会長	はい、わかりました。 現在、名古屋産業大学で環境の、主にゴミ減量に関することを研 究しています。最近ですと、地球温暖化やサーキュラーエコノミー と言って、ゴミを無くし循環させるということを特に頑張っていき たいと考えています。もう一つは生物多様性で、この3つが環境問 題の大きなテーマになっています。それを合わせた格好でゴミを減 らしていこうということで、皆さん一緒に色々審議させていただき たいと思えます。よろしくお願いします。

	ご挨拶は、以上とさせていただきます。
事務局（環境課長）	それでは次第に移っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
矢野会長	それでは、次第に従いまして進行させていただきます。 まずは、職務代理者の指定についてです。この件につきましては、尾張旭市廃棄物減量等推進審議会条例第6条第3項に基づき、私、会長より指名させていただきます。自治会活動の中で地域の課題に精通しておられる自治連合協議会の新田委員を職務代理者として指定させていただきたいと思いますが、皆さまいかがでしょうか。
各委員	<異議なし>
矢野会長	それでは、新田委員に職務代理者をお願いします。よろしくお願いいたします。 続きまして、議題の(2)に入らせていただきます。 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の進捗状況について、事務局より説明をお願いします。
事務局（飯田）	<資料1に基づき説明>
事務局（林）	<資料2に基づき説明>
矢野会長	ありがとうございました。 資料1と2に関しまして、ご説明いただいておりますけれども、ご意見・ご質問等、皆様の方からございませんでしょうか。 私の方から1つだけ、資料2のNo.39の（プラスチックごみを）資源ごみとすることに対する課題等があれば協議させていただければと思います。ハードルが高いのかなと思いますので、ご説明いただければと思います。
事務局（林）	やはり、分別の種類を増やすということは、当然、収集方法からして検討をしなければなりませんし、また、中間処理やルートの設定等も必要になってくるかと思えます。それらについて、今後検討を進めていきたいと思っております。
矢野会長	2022年からプラスチック資源循環の法律ができました。それを、尾張旭市として他の自治体と連携しながら行うということです。 皆さんの方からご質問やご意見等はありませんでしょうか。 特に、家庭ごみの資源ごみを除くところでは、結構目標値が厳しいというお話もありますので、何か良いアイデアがあればとは思いますが、いかがでしょうか。
白坂委員	今はもうすべてプラスチック容器です。例えば、油もので洗剤をたくさん使って洗うのは大変なので、それは普通の燃えるごみにといいように意識しています。年1回の家庭ごみ組成調査をしていた

	<p>だいたいに、そのあたりを、これは汚いからこちらに分別したのだと理解して、市の方でカウントしていただいているのかということを考えます。そのあたりの分け方が本当に微妙だと思います。</p>
矢野会長	<p>どこまで洗えば資源になるのかということですか。</p>
白坂委員	<p>はい、そうです。汚いものを洗剤使って、水を汚染するよりはと思ひ、ごみの分別を行っているのですが、それをプラスチック製容器包装のごみとして分けるというふうになると、どうなのでしょう。そこを市の方でどういうふうに分けるかを決めていただきたい。</p>
矢野会長	<p>ガイドラインがあった方が良くということですか。</p>
白坂委員	<p>はい、そうです。もう少しきちんと、ガイドラインのようなものがあれば良いと思います。そうすれば堂々とごみの分別ができます。迷いながらごみの分別をしていることが多々あります。</p> <p>あと、私たちがどうこうというよりも、事業者にもご協力いただけたらと考えるところがあります。スーパーなどで、天ぷらやお寿司など、崩れないようにとの考えだとは思いますが、過剰包装といえますか、包装が大きいので、ラップ等でも良いのかとは思いますが、かなりかさばりますので、もう少し包装の仕方を考慮していただければと思います。</p>
矢野会長	<p>店舗でのプラスチックごみの資源回収等での悩みや市民の方に対する希望等はありませんでしょうか。環境教育や体験がとても大事かとは思いますが。</p>
中西委員	<p>分別の方は、正直なところしっかりはできていないです。何かしらごみ問題は起きるので、分別や洗って捨てるだとかを進めてはいますけれども、なかなか完璧にはできていないです。</p>
矢野会長	<p>環境教育や体験がとても大事かとは思いますが。 組成調査をされている事務局はいかがですか。</p>
事務局（飯田）	<p>明確な基準があるわけではないので、なかなか難しいところではあるのですが、組成調査の際は、さすがにこれを洗ってプラスチックごみにするには酷だと思うものは、そのまま燃えるごみでカウントしています。ただ、食パンの袋なども燃えるごみに入っている場合があり、パンの袋は資源ごみに回せます。感覚的なところはありますが、一応はそういうところも考慮し、調査を行い、「プラスチックごみは一括で資源ごみ」とはしないようにはしています。それでも、混入ごみが多いというのが現状です。</p>
米今委員	<p>そういうものは、きちんと規定されている何か文章等で配布したものはあるのですか。</p>

矢野会長	ガイドライン的なものでしょうか。ガイドライン的なものがあれば分別しやすいということですか。
米今委員	はい、そうです。例えば、コンビニ弁当を買ってきて、ある人は燃えるごみで捨て、また別の人は少し洗ってプラスチックごみの再利用に回す人もいます。そのあたりのガイドライン的なものを市民に周知した方が良いと思います。
矢野会長	事務局は今のご意見について、いかがでしょうか。
事務局（林）	今、ごみ出しカレンダーに軽く洗ってというような表現を記載しているのですが、なかなか明確にするのは難しいかと思います。逆に、どうすれば市民の皆さんにわかっているのかということが私共も今悩んでいるところです。
米今委員	私共は、生ごみを堆肥にしようという活動を行っているのですが、ご承知の通り、生ごみというのは台所から出るので水分が80%以上あります。ですので、一番手っ取り早いのは、ごみとして出す前に一握り絞れば、重量比で2～3割は下がります。実際は、絞らず入れるので、（水が）タプタプなんです。私の意見としては、市民に繰り返し、繰り返し、あらゆる伝達手段で、生ごみを出す時には一握り絞りましょうというだけで、かなりのグラム数ダウンができると思います。今のところ生ごみの一握り絞ってくださいというメッセージは、あまり一般市民に届いていません。くどいほどに出さないと、年に1～2回出しても全然効き目はありません。それこそ毎月のように、またかと思われるくらいに発信した方が私は良いと思います。いかがでしょうか。広報誌の一角所に一部入れるだけでも少しは効き目があるかとは思っています。
矢野会長	はい、わかりました。 その他、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。
松原（紘子）委員	ハンガーが今のところ燃えるごみですが、先ほど、そのうち資源ごみに変わるとおっしゃいました。たまたま家の中を整理していますと、結構、プラスチックのハンガーがあるものですから、分別表を見てみましたら燃えるごみとなっていて、今仕分けしているのですが、いずれ近いうちに資源ごみに変更になるのでしょうか。
事務局（林）	はい、変わります。
松原（紘子）委員	では、燃えるごみに出さずに、置いておいた方がよろしいですか。
矢野会長	引き続き使っていただくのが一番良いかとは思っています。
松原（紘子）委員	たくさんあるのです。

事務局（環境課長）	今後、研究していきますので、早いと言ってもそれなりの時間がかかります。今処分されたいということであれば、燃えるごみで出していただければと思います。
松原（紘子）委員	はい、わかりました。
矢野会長	（プラスチックは）基本的には成分が全部違うので難しいです。構成要素が違うため、それを分別するにはそれぞれの判断では難しい。ペットボトルのような中間処理を行って「製品 to 製品」というのが今少しずつ浸透していっていますが、プラスチックの成分がPP（ポリプロピレン）であったりPE（ポリエチレン）であったりするので、それをわかった上で処理をしないと資源循環ができないというところが、プラスチックの一番大きな課題ではあります。
松原（ふき）委員	はい、わかりました。
矢野会長	その他にご意見等はございませんでしょうか。
松原（ふき）委員	紙のことについて質問です。以前はシュレッダー紙というのは紙類だったのが、今は燃えるごみに変わっています。これは逆なように思うのですが、どうしてですか。
事務局（林）	シュレッダーごみになってしまうと、例えばビニール等がコーティングされているような紙類も混入してしまうものがありますので、そういった関係で今は燃えるごみで処理しています。
矢野会長	それでは、まだ色々ご意見もあるかとは思いますが、今いただいた意見をベースにしながら、改善・改良していくということでご了解いただければと思います。 資料1・2に関しては、これ以上ご意見が無いようですので、このとおり事務を進めていくということによろしいでしょうか。
各委員	<異議なし>
矢野会長	上手くまとめていただいていますので、この計画とこの概要は、このまま進めていき、皆さんからのご意見を受けてまた改善をしていくということで進めていきます。 続きまして、次第の議題(3)「次期一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定状況について」に移ります。この資料3について、（株）東和テクノロジー様から説明をお願いします。
東和	<資料3について説明>
矢野会長	はい、ありがとうございます。 ただいま説明がありました「次期一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定状況について」ということで、数値目標も踏まえて具体的にご説明いただきました。

	これについて、ご意見・ご質問等はありませんでしょうか。
矢野会長	食品ロスに関しましては、愛知県のレベルよりも尾張旭市の方が浸透していると書かれています。それを更に目標を定めて行っていくということについて、何かご意見等はありませんでしょうか。
水野委員	「フードドライブ」という言葉の意味はなんですか。
矢野会長	「フードドライブ」についてもう一度ご説明いただいた方がわかりやすいでしょうか。「フードドライブ」の活動そのものの内容等のご説明をお願いします。
東和	はい。ご家庭で、賞味期限が残っていて余っている食品等を持ち寄って必要な方にお渡ししたりする活動のことを「フードドライブ」と言います。例えば、缶詰がたくさん余っていて、まだ賞味期限が1ヶ月ちょっと残っているものを何かの会で持って行かれるようなことになります。
水野委員	では、尾張旭市ではそういう「フードドライブ」の組織はあるのですか。
東和	社会福祉協議会で「フードドライブ」を行われています。
事務局（林）	はい。年に2回持ち寄っていただくような機会を設けているような状況です。
水野委員	年に2回だけですか。例えば今月末に賞味期限が切れる物などは、タイミングが合わないと、ごみになってしまうということですか。
矢野会長	そうです。
水野委員	はい、わかりました。
矢野会長	NPO法人等に委託して、回してくれると一番いいのでしょうかけれど、市自身が行うとなると中々難しいです。 「御殿場クラブ」という、お寺に色々持ってくるというところがあり、私も毎月お金を払っているのですが、そこでみんなが集まって、全国のお寺でそれを色々な家庭に配るといって、そういうフードロスを無くすための活動を行っています。そういう仕組みがあるとおもしろいかもしれません。
水野委員	それからもう1つ剪定ごみは、今はどうしているのですか。
事務局（林）	今は燃えるごみで収集をしています。
水野委員	収集の方ではなく、持ち込んだ剪定ごみはどうしているのですか。
事務局（林）	可燃ごみとして処理しています。
水野委員	燃やしていると、ごみの減量にはならないのではないのでしょうか。
事務局（環境）	はい、そうです。今はなっていないです。

課長)	
水野委員	それについて、どのようにお考えになっているのですか。
事務局（林）	今後は、チップ化等を行い資源化の方向へ進めていこうと考えています。
水野委員	今、月曜日ですと集積場に3分の1くらい剪定ごみが出してあります。それをチップ化すれば、すごく燃やす量が減るのではないかと思うのですが、まだそこまでは行われていないということでしょうか。
事務局（林）	はい、そうです。
矢野会長	間伐材の活用みたいところで事業者が入ってくればうまく回るでしょうけれど、まだそこまではいっていないということです。そのほかにご意見と質問等はございませんでしょうか。
米今委員	賞味期限寸前のものを、子ども食堂等に提供するということで、どこかリサイクル倉庫のようなところにストックしておいて、子ども食堂の方がそれを取りに来ると。毎月いつでも取り出していいというようにすれば、かなり利用者はあるとは思いますが、どうでしょうか。市民もパッと見てまだ賞味期限があと1ヶ月あると思ったら、リサイクルひろばに持っていけば、使う人が来てそれを持って行くというふうなシステムを作ればいいかなという考えはあります。ただ、実際は人手等の問題はありますが、そのあたりは工夫の余地はあるように思います。
矢野会長	そうですね。誰が各家庭から集めてきてどこかに置くとかというところで、お金や回り方も考えなければいけません。寄付というかたちでも良いかとは思いますが、どうしても事業者は、実際に運送費が掛かりますので難しいかと思えます。
米今委員	市民の方は結構、市役所のリサイクルひろばに来ますから、その時に持ってきてもらったらいいのではないかと思います。
矢野会長	それもいいかもしれません。
水野委員	私もそれは思います。土日はリサイクルひろばに市民がしょっちゅう来ています。その中に食品ロスの関係の例えば冷蔵庫でも置いておいて、「ここに入れてください。」としておけば、結構利用されると思います。
矢野会長	あとは減量効果の試算結果の中でも水切りの徹底というのは、先ほどワングリップで行うだけというお話もあったので、あれを広報していくということも結構大事だということです。 その他、皆さんの方から何かございませんでしょうか。
松原（紘子）委員	以前から疑問に思っているのですが、枯れた草のことで、昔は燃やしても良かったのに、今は駄目です。どうしても、ごみに出すの

	<p>ですが、袋にそのまま入れると袋が破れ、小枝でけがされてもいけないと思ってダンボール箱に詰め込んで、今は出しています。環境課に聞きましたら、それをさらに燃えるごみの袋に入れて出すようにと言われてまして、二重に袋に入れて出す必要があるのかと思いつながら、そのように出しています。そのあたりはやはり、さらに袋に入れて出さなければいけないのでしょうか。ダンボールの箱のままではだめなのでしょうか。</p>
事務局（林）	<p>指定ごみ袋というのを指定させていただいておりますので、そちらに入れていただくということになります。おそらく市境に近いところだと、尾張旭市民と違う方が出されたりする可能性もございますので、指定ごみ袋でお願いしたいと思います。</p>
松原（紘子）委員	<p>私たちはいつも決まったところに出していますけれども、そうとばかりは言えないということですか。</p>
事務局（林）	<p>はい。</p>
米今委員	<p>一市民として、ひとこと言いたいのは、リサイクルひろばに市民はガソリンを使ってダンボールや新聞紙等を持ってくるわけです。しかし係の人は全く手伝ってくれない。せめて「ご苦労様です。」とか「ちょっと手伝いましょうか。」「車から降ろして運びましょうか。」ということは一切ないです。環境課とはどういう関係なのかは知りませんが、もう少し人間らしくできないのかということを感じました。</p>
事務局（環境課長）	<p>環境課で運営しておりますが、障害をお持ちの方をお願いをしております、難しいところではあります。</p>
米今委員	<p>「ご苦労様です。」くらいは言えませんか。</p>
矢野会長	<p>挨拶はした方が良くということですか。</p>
米今委員	<p>いえいえ、そうではないです。仕事があるのならいいのですが、ポーと立っているのであれば、こちらはちょっと持ってくれと言いたくはなる。ただ、障害の方もいらっしゃるということなので、あえて言いませんが、何と言いますか、もう少し工夫ができないものかとは思っています。すみません。一市民の声です。</p>
事務局（環境課長）	<p>はい。色々検討いたします。</p>
新田委員	<p>先ほどのフードロスの話について、フードドライブを年に2回、行っていますが、結局、賞味期限が1ヶ月以上のものという、ほとんど品物が限られてきます。お米は多少古くても全部受け付けるようにしています。それ以外はほとんど缶詰類や乾物のストック商品が必然的に多くなってきます。生ものに近いものは賞味期限が近いからフードドライブ事業には現実的に向かないです。我々のとこ</p>

	<p>ろは公民館に持ってきていただいて、社協へまとめて持ち込んでいます。やはり、自然に品物が限られています、そういうサイクルできる環境があればフードロスが減るかとは思いますが、現実的にはそういうシステムはないので、必然的に生ごみとして捨てています。</p>
矢野会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>それでは、皆さんのご意見を踏まえて、軌道修正を加えつつ、計画の策定を進めていくということではよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p><異議なし></p>
矢野会長	<p>はい、ありがとうございます。それではご意見がないようですので、進めさせていただきます。</p> <p>続きまして、次第の「その他」につきまして、事務局に資料4についてご説明をお願いします。</p>
事務局（林）	<p><資料4について説明></p>
矢野会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>ご説明がありました資料4につきまして、ご意見・ご質問等はいかがでしょうか。</p>
榊田委員	<p>目標値と実績がかけ離れているから有料化を検討するということですか。</p>
事務局（林）	<p>そうですね。今はそういった状況で、かけ離れていくと有料化について検討を行うといったようなところでございます。</p>
榊田委員	<p>なぜ、有料化にせざるを得ないかということ、もう少しご説明された方がいいと思います。ごみを減らすことは、今、皆さんご検討されているように、一絞りする等色々なことをご検討されている中で、「このままでいくと処分費がかかりすぎてしまいます。」や「施設が老朽化しています。」というようなことであればまだわかりますが、目標値とかけ離れてしまったから有料化にしますというのは、原因としては少し弱いという気がします。</p>
米今委員	<p>この有料化が、ごみの減量には一番効果があると思います。</p>
榊田委員	<p>検討されることに対しては全然問題はありません。ただ、理由として、目標値とかけ離れてしまっているのが検討しますという理由が少し弱いということです。</p>
米今委員	<p>はい、それはいえませぬ。</p>
矢野会長	<p>市民の方々が納得できるような説明の仕方というのが大事であるということですかね。</p> <p>その他、ご意見・ご質問等はいかがでしょうか。</p> <p>それでは、ご質問等がないようですので、事務局は本日のご意見を参考に、今後のごみ減量施策及び次期ごみ処理基本計画の策定を</p>

	<p>進めていただくと思いますので、よろしく申し上げます。</p> <p>以上で、予定していた議題等は終了しました。</p> <p>事務局からは何か他にありますでしょうか。</p>
事務局（環境課長）	<p>はい。長時間にわたり、ありがとうございました。</p> <p>次回に向けて、本日の議論いただいた内容を整理いたしまして、進めていきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>今年度、本日を含めて3回会議を予定しております。事前にご連絡はさせていただいておりますが、</p> <p>次回の会議は、11月21日の火曜日10時から、</p> <p>その次の第3回は、2月2日の金曜日10時から</p> <p>を予定しております。詳細については、ご案内を郵送させていただきますので、よろしく申し上げます。次回は、この基本計画の素案を提示させていただいて、それについて皆様に諮問をさせていただき進めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。また先ほどもございましたけれども、数値等につきましては、今、晴丘センターの建て替えの検討も行っている中で、晴丘センターは尾張旭市・長久手市・瀬戸市で使用しているものですから、その3市と協調したようなかたちで、また目標も検討していくかたちになりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
矢野会長	はい、ありがとうございました。
水野委員	晴丘センターは建替えをしなければ、いつ頃までしか使えないのですか。
事務局（環境課長）	令和4年度に延命化工事というのを行いまして、それは10年の延命化を行ったものです。ですので、その後、建替え等となります。
水野委員	令和14年には建替えないといけないのですか。
事務局（環境課長）	まあ、そのあたりということで、まだ確定しているわけではございませんけれども、そこに向けてごみの減量を検討していくということになります。
矢野会長	よろしいでしょうか。
水野委員	あと、ごみの減量化をすれば、晴丘センターはもっと長く使えるわけですか。
事務局（環境課長）	施設自体の耐用年数というのがありますので、一概にごみの減量をしたから長くなるということではございません。
水野委員	では、令和14年を目標に建替えをしなければならないのですか。
事務局（環境課長）	まあ、目標と言いますか、そのあたりで建替えの検討をしなければならないということになります。

水野委員	はい、わかりました。
矢野会長	そのほか、よろしいでしょうか。何かございませんでしょうか。
矢野会長	それでは、これをもちまして、令和5年度 第1回尾張旭市廃棄物減量等推進審議会を終了させていただきます。皆様、長時間に渡りましてご審議の程、大変お疲れさまでございました。ありがとうございました。